

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス両国教室			
○保護者評価実施期間	2024 年 11 月 1 日	～	2024 年 11 月 30 日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	2024 年 11 月 1 日	～	2024 年 11 月 30 日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024 年 12 月 15 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもと保護者様の立場をより理解して本 当の意味で支援できる教室を目指していっ ている職員の姿勢があること。	・朝の打ち合わせや日頃の職員の会話を通し て子どもの共通理解を図る姿勢があること。	・専門的な運動療育、子ども理解のための 研修の充実を図ることが必要である。
2	・療育のプログラム・教材準備。指導方法の 充実がされている。	・年間を通して療育のプログラム・言語聴覚 士の教材指導方法の内容の充実と工夫がなさ れていること。	・3か月に1回、本社から指導の専門家に よる指導があることを更に、毎日のこども への支援に活かしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	・日頃の事務作業の効率化が出来ない。	・煩雑にならないように努めているが人員の 少なさから、事務作業が膨大となってい まう。	・効率の良い事務作業の進め方を考え少し ずつ改善を図り、職員の残業が無くなるこ とを目指していく。
2	・学校からの引き渡しの際に子どもの様子 など上手く聞くことが出来ない。	・学校の先生もお忙しいため、なかなか聞い て情報をえるという姿勢を教室の指導員もも てなかった。	・短くとも参考になる質問を子どもの情報 を共有するためにも単時間で工夫して伺っ ていく努力をする。(必要な時にのみ)